

### 議題3 検証指標の変更について

本計画の進捗、達成状況を知るための指標として、各施策には検証指標を設定している。このたび、検証指標の根拠となる調査項目が廃止されたことから、下記の検証指標について項目内容の変更を予定している。

#### 1 変更箇所及び内容

##### 食育の推進

基本的施策	Ⅰ「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践	
施策の方向性	(1) 家庭における食育の推進	
検証指標 項目		
変更前	⑤朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、 他は「ほとんど食べない」の割合	幼児
		小学 5 年生
		中学 2 年生
		若い世代【20 歳代, 30 歳代】
		65 歳以上
変更後	⑤朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、 他は「ほとんど食べない」の割合	幼児
		小学 6 年生
		中学 3 年生
		若い世代【20 歳代, 30 歳代】
		65 歳以上

#### 2 変更の理由

これまで、熊本市の小・中学生の朝食の摂取状況は、熊本県体育保健課が実施していた「健康教育実態調査」の中の朝食の摂取状況調査項目を検証指標の根拠データとしていた。令和6年度から健康教育実態調査の朝食の摂取状況調査項目が廃止となったため、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」の中で行われる朝食の摂取状況調査にて把握するものとなった。

この変更に伴い、全国学力・学習状況調査の対象である小学6年生及び中学3年生に統一するため、検証指標の項目を変更し、下記のとおり基準値、実績値及び目標値としたい。

##### ■検証指標項目

基本的施策	I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践	R5	R6	R17
施策の方向性	(1) 家庭における食育の推進	基準値	実績値	目標値
⑤朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、他は「ほとんど食べない」の割合	幼児	96.7%	—	100%
	小学6年生	1.7%	1.8%	0%
	中学3年生	2.6%	2.4%	0%
	若い世代【20歳代, 30歳代】	13.3%	—	10%以下
	65歳以上	2.3%	—	0%

参考)

調査名	実施主体	調査対象学年
健康教育実態調査	熊本県	小学5年生、中学2年生
全国学力・学習状況調査	文部科学省	小学6年生、中学3年生